

日本農業新聞

屋上農園「楽しいな」 京

世界の稲親子で田植え 東

東京都港区で子どもの「メリープロジェクト」上で子ども向けの田植えのための非営利活動を行う「は6日、同区のビルの屋上」体験を催した。日本で昔



六本木ヒルズが見えるビルの屋上で稲18品種の田植えを体験した子どもたち(6日、東京都港区で)

作られていた古い品種や、海外の品種など18品種の苗をそろえ、10月の刈り取りまで作業を体験する。当日は、休日の親子連れ約50人が泥んこになりながら、酒だるやバケツ、畳1枚大のミニ水田への植え付けを楽しんだ。

同プロジェクトは、同区でデザイン事務所を営む水谷孝次さんが立ち上げた。

屋上農園の取り組みは、子どもが楽しんで学ぶ食育を目指し、今年で2年目。東京農業大学の入江憲治准教授や学生らが、子どもの指導や苗の

提供などで協力し、収穫までを支援する。

今年「コシヒカリ」をはじめ、江戸時代の品種「白石」、アフリカの陸稲ネリカ米などに挑戦した。場所は、都心の華やかさを象徴する巨大ビル・六本木ヒルズの傍ら。雨天の下、主に東京都内から参加した親子

は、慣れない手つきで土に苗を差し込んでいった。

板橋区から参加した阿部美月ちゃん(7)は「苗を土に挿しても曲がって難しかった。できたお米でお母さんに料理を作ってあげたい」と、収穫が待ち遠しい様子だった。